

令和6年度進行管理・評価シート
上田市 歴史的風致維持向上計画（令和5年2月15日認定）
（最終変更：令和7年3月14日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	
1 計画の推進体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 上田市景観計画等との連携	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 上田城跡武者溜り整備事業	3
2 上田城跡本丸櫓復元整備事業	4
3 指定文化財防災設備設置推進事業	5
4 北国街道西部地区歴史的建造物調査	6
5 城下町地区歴史的建造物調査	7
6 上田映劇建造物調査	8
7 重要文化財等修復補助事業	9
8 新参町線無電柱化及び景観形成事業	10
9 天神町新屋線無電柱化事業	11
10 柳町景観形成事業	12
11 空き家情報バンク事業	13
12 新参町厩裏線景観形成事業	14
13 無形民俗文化財後継者育成補助事業	15
14 活力あるまちづくり支援金事業	16
15 ふるさと上田先人顕彰事業	17
16 住民自治組織によるまちづくり	18
17 地域学習推進事業	19
18 文化財de文化祭	20
19 景観ウォッチング	21
20 「観光地・上田」の誘客促進事業	22
21 日本遺産推進事業	23
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財の保存(文化財調査・指定・保存管理・活用等)について	24
2 文化財の保存(文化財調査・指定・保存管理・活用等)について	25
3 文化財の修理・整備等について	26
4 文化財の防災に関する取組について	27
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	
1 上田城復元推進協議会が発足 他21件	28
⑥その他(効果等)(様式1-6)	
1 観光地来訪者の状況	29

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	30
--------------------------------	-----------

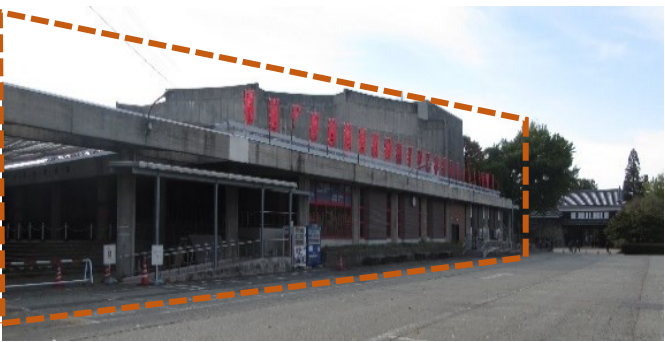
評価軸①-1 組織体制	
評価対象年度	
令和6年度	
項目	現在の状況
計画の推進体制	☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
計画に記載している内容	上田市における計画の推進体制は、「歴史まちづくり庁内推進会議」において計画の業務調整や進捗管理などを行うとともに、法定協議会である「上田市歴史的風致維持向上協議会」に計画の進捗状況などについて報告・提案し、助言や意見を得ながら計画の推進や変更、効果的かつ円滑な事業実施に向けた協議を行い、事業の推進を図る。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
事務局の生涯学習・文化財課と都市計画課が連携して事業を推進している。 「歴史まちづくり庁内推進会議」を1回、上田市歴史的風致維持向上協議会を1回開催した。	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない	関係者、関係課と歴史まちづくりの意識共有を進めて計画の推進を図りたい。
状況を示す写真や資料等	
●庁内推進会議 1 期日 令和7年1月15日(水) 2 場所 上田市役所 3 内容 (1) 令和6年度上田市歴史的風致維持向上計画の進行管理・評価について (2) 令和7年度の歴まち計画に係る事業について  令和6年度 庁内推進会議  令和6年度 上田市歴史的風致維持向上協議会 ●上田市歴史的風致維持向上協議会 1 期日 令和7年2月12日(水) 2 場所 上田市役所 3 内容 (1) 令和6年度上田市歴史的風致維持向上計画の進行管理・評価について (2) 上田市歴史的風致維持向上計画の軽微な変更について	

評価軸②-1
重点区域における良好な景観を形成する施策

項目		評価対象年度	令和6年度
		現在の状況	
上田市景観計画等との連携		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
計画に記載している内容	「上田市景観計画」は景観法に基づき、「歴史と文化の薫り高い風格ある景観づくり」等の4つの基本目標を掲げ、美しい自然や歴史と文化が生きる魅力ある景観づくりをより効果的に進めていくことを目的として策定された。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・平成24年策定の上田市景観計画の基づき、一定規模の建築行為等に対し届出を確認し、景観形成基準への適合を促した。(届出件数 令和6年度 39件 11月末時点) ・良好な景観の形成に関する事項について審議するため、景観審議会を開催した。(令和6年8月 1回)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		歴史的風致維持向上計画と景観計画に関する情報を共有し連携を図る。	
状況を示す写真や資料等			
 令和6年度 上田市景観審議会 ●上田市景観審議会 1 期日 令和6年8月6日(火) 2 場所 上田市役所 3 内容 上田市景観計画で定める建築物の高さ制限の適用除外について			

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度
		現在の状況	
上田城跡武者溜り整備事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
事業期間	令和4年度～令和10年度		
支援事業名	令和4年度～: 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金 令和5年度～: 同上 令和6年度～: 都市構造再編集集中支援事業(国庫補助)		
計画に記載している内容	上田城跡に「武者溜り(青枳)」を整備するため、整備予定場所に立地している「旧市民会館(茶色点線)」を解体し、石垣や堀、土塁の復元整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
復元整備の根拠となる客観的情報の収集を行うため冠塀台石垣跡を発掘調査した。また、史跡上田城跡の復元に向けた具体的な整備方針やスケジュールを定めた「史跡上田城跡整備基本計画」の改訂作業を進めている。 令和6年度末 ①発掘調査進捗率80%(基準: 令和6年度100%) ②史跡上田城跡整備基本計画策定40%(基準: 令和7年度100%) ③武者溜り整備進捗率10%(基準: 令和10年度100%)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		客観的情報を収集するため、武者溜り周辺の発掘調査を継続 復元整備に向けた具体的な整備方針や事業内容を検討	
状況を示す写真や資料等			
 上田城跡の復元模型 (整備イメージ)  旧市民会館			
 冠塀台石垣跡 発掘調査 			

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和6年度
項目		現在の状況
上田城跡本丸櫓復元整備事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	令和5年度～令和14年度	
支援事業名	令和4年度～: 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金 令和5年度～: 同上	
計画に記載している内容	上田城跡本丸の隅櫓4棟および土堀、西虎口櫓門の復元的整備の実現に向け、調査研究を進める。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
復元整備の根拠となる客観的情報を収集するため、復元資料収集に向けた懸賞金事業及び文化庁協議用報告書の作成や移築建造物調査を実施した。また、復元に向けた機運醸成を図るため、市立博物館・市内商業施設等でのパネル展やトークショーのほか、千本桜まつりや紅葉まつりで復元PRブースや市立博物館秋季企画展等を実施した。 令和6年度末 ①機運醸成進捗率20%:基準 令和8年度末) ②発掘調査進捗率20%:基準 令和7年度末) ③復元整備に向けた史跡上田城跡整備基本計画の策定作業40%:基準 令和6年度末) ④櫓及び櫓門の復元的整備0%:基準 令和13年度末)		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない	客観的情報を収集するため、残り4つの櫓及び西虎口櫓門の発掘調査を継続 復元整備に向けた具体的な整備方針を検討	
状況を示す写真や資料等		
 上田城の資料を 探しています!! 懸賞金 500万円 募集期間 令和6年4月1日(月)から 令和7年3月31日(月)まで お問い合わせ yagura@city.ueda.nagano.jp 0268-23-5403  移築建造物調査  市立博物館 秋季企画展		
 上田城パネル展（商業施設）  夏休み親子企画  上田城トークショー宵の部		
 上田城トークショー2024・千田先生と巡る上田城  		

評価軸③-3 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		
項目		評価対象年度 令和6年度
指定文化財防災設備設置推進事業		現在の状況 ☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	令和5年度～令和14年度	
支援事業名		
計画に記載している内容	建造物を中心とした重要文化財及び県・市指定文化財に対する防災設備設置を推進し、補助を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
重要文化財である国分寺三重塔について、防災設備の新設及び更新について設計実施。令和7年度の実施に向け手続きを進めている。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない	事業実施には所有者負担が発生するため、所有者の財政力によってはなかなか設備設置に踏み切れず、長期的な計画が求められることもある。	
状況を示す写真や資料等		
 信濃国分寺三重塔		

評価軸③-4 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		
項目		評価対象年度 令和6年度
北国街道西部地区歴史的建造物調査		現在の状況 ☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和5年度～令和14年度	
支援事業名		
計画に記載している内容	歴史文化基本構想策定時の調査を基に北国街道西部地区の歴史的建造物の詳細調査を行う。大学研究者の協力を得て歴史的・文化的特徴を明らかにするとともに、建築士、市民団体等の地元関係者の意見を聴きながら保存・活用の方策を検討する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
塩尻地区に位置する養蚕家屋について調査を実施。登録有形文化財に向け手続きを進めている。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	調査費用に係る財源の確保が課題。	
状況を示す写真や資料等		
		
北国街道西部地区の町並みと歴史的建造物		

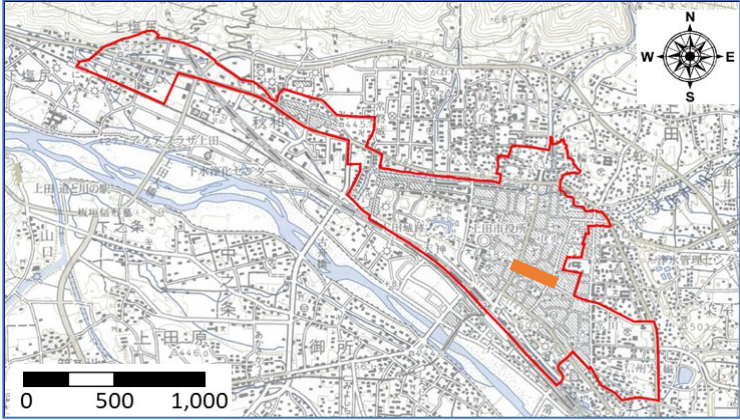
評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和6年度
項目		現在の状況
城下町地区歴史的建造物調査		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	令和5年度～令和14年度	
支援事業名		
計画に記載している内容	歴史文化基本構想策定時の調査を基に城下町地区の歴史的建造物の詳細調査を行う。大学研究者の協力を得て歴史的・文化的特徴を明らかにするとともに、建築士、市民団体等の地元関係者の意見を聴きながら保存・活用の方策を検討する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
城下町地区内において、かつて上田藩に関連する建造物を移築したと伝えられている建造物について、信州大学土木教授協力のもと、調査を実施。今年度7件の調査を予定。 また、上田城跡公園内の旧市民会館について、長野県建築士会協力のもと調査を実施している。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない	調査費用に係る財源の確保が課題。	
状況を示す写真や資料等		
 本陽寺表玄関  川上家表門  旧市民会館		

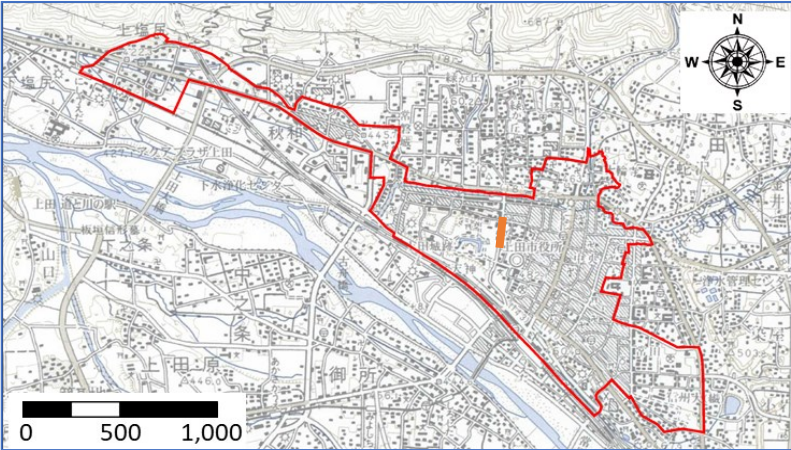
評価軸③-6 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		
項目		評価対象年度 令和6年度 現在の状況
上田映劇建造物調査		■実施済 □実施中 □未着手
事業期間	令和3年度～令和6年度	
支援事業名		
計画に記載している内容	文化財登録制度の活用を念頭においた建造物調査を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
調査成果を基に所有者と今後の保存・活用や文化財登録について協議を進める予定。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	調査は終了しているが、今後の保存・活用の基となる財源の確保が課題。	
状況を示す写真や資料等		
 上田映劇の外観（令和4年）  上田映劇の内部（令和4年）		

評価軸③-7 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		
項目		評価対象年度 令和6年度
重要文化財等修復補助事業		現在の状況 ☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和5年度～令和14年度	
支援事業名		
計画に記載している内容	重要文化財及び県・市指定文化財の保護を推進し、修復等の経費に対し補助を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
本年度、重要文化財である中禅寺薬師堂の茅葺屋根の修復に対し、補助を実施。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	事業実施には所有者負担が発生するため、所有者の財政力によってはなかなか修理に踏み切れない状況もある。	
状況を示す写真や資料等		
 中禅寺薬師堂茅葺屋根修復前（東面）  中禅寺薬師堂茅葺屋根修復後（東面）  中禅寺薬師堂茅葺屋根修復前（南面）  中禅寺薬師堂茅葺屋根修復後（南面）		

評価軸③-8 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項	
評価対象年度	
令和6年度	
項目	
新参町線無電柱化及び景観形成事業	
現在の状況	
☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成29年度～令和6年度
支援事業名	都市再生整備計画事業(平成29年～令和元年) 無電柱化推進計画事業(令和2年～令和5年) 街なみ環境整備事業(令和4年～令和6年)
計画に記載している内容	市街地から上田城跡公園につながる新参町線(約480m)の無電柱化及び、歩道美装化を行うとともに、隣接箇所の広場整備を行う。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
令和4年度 広場の整備終了 令和6年度 無電柱化事業 (計画期間累計) 実績済みL=450m/計画延長L= 450m(進捗率100%)(令和6年11月末時点) 歩道美装化事業 (計画期間累計) 実績済みL=389m/計画延長L= 510m(進捗率 76%)(令和6年11月末時点)	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	大手門まちかどテラス整備の進捗状況に合わせて、令和7年度以降も継続して事業を進める。
状況を示す写真や資料等	
 事業位置	
 整備前  整備後	
 整備前  整備後	

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和6年度
項目		現在の状況
天神町新屋線無電柱化事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	令和4年度～令和10年度	
支援事業名		
計画に記載している内容	上田城二の丸虎口跡の東側を通る天神町新屋線を無電柱化(約250m)することにより、防災対策と城跡周辺の景観保全を図る。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
令和6年度 関連事業者と協議を進め、令和6年度に詳細設計を委託した。計画延長L=250m。		
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		詳細設計をもとに令和7年度から工事着手予定。
状況を示す写真や資料等		
 事業位置  無電柱化対象の電柱  上田城跡の桜と電線		

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度
		現在の状況	
柳町景観形成事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
事業期間	令和4年度～令和7年度		
支援事業名	街なみ環境整備事業(令和4年～令和7年)		
計画に記載している内容	北国街道の趣を残す柳町地区の景観整備(景観水路の美装化等)を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
市道原町生塚線の水路美装化のため、木製の水路蓋を街並みに合った擬石蓋に変更した。(L≒180m) 民間建物修景について検討会議を開催し、令和6年度1件建物の外観修景事業の実施を決定した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		民間建物修景について、今後の要望状況によって事業の継続を検討したい。	
状況を示す写真や資料等			
 整備前 (木蓋)  整備後 (擬石蓋)  ●上田市柳町地区修理修景事業検討委員会 1 期日 令和6年7月18日 (木) 2 場所 上田市勤労者福祉センター 3 内容 事前協議のあった事業について  令和6年度修景予定箇所			

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和6年度
項目		現在の状況
空き家情報バンク事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 令和5年度～令和14年度

支援事業名

計画に記載
している内容

養蚕家屋・古民家を含む「空き家」の情報提供、利用者と所有者とのマッチングを行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

1空き家登録状況(令和6年度) 空き家登録件数 27件 空き家情報利用希望者登録数 152人

2契約成立件数(令和6年度) 19件

3問合せ件数(令和6年度) 物件提供関連 134件 物件利用関連 399件
(令和6年11月末現在)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

令和6から7年度に予定している、空家等実態調査の結果について、令和6年度導入予定の空家等管理システムに反映させ、空き家所有者に対し積極的なアプローチを行い、新たな空き家物件の掘り起こしを検討。

状況を示す写真や資料等

◎物件提供登録／物件利用登録件数

※1 売買、賃貸の両方で登録された物件があるため小計と合いません。

※2 解消された空き家とは、民間売買などに移行して空き家ではなくなった物件数

	物件登録総件数			利用希望者登録			成約数			解消された 空き家数※2	計
	小計	売買	賃貸	小計	住替希望	移住希望	小計	売買	賃貸		
H27 年度	37	31	6	62	16	46	14	12	2	18	81
H28 年度	39	34	5	99	47	52	20	18	2		
H29 年度	45※1	39※1	8※1	111	49	62	29	20	9		
H30 年度	35	33	2	115	62	53	15	12	3	6	21
R01 年度	22	16	6	118	56	62	17	16	1	3	20
R02 年度	30※1	27	5※1	177	79	98	20	16	4	9	29
R03 年度	32	30	2	146	52	94	30	26	4	5	35
R04 年度	52	45	7	166	79	87	29	25	4	7	36
R05 年度	35	33	2	157	41	116	27	24	3	8	35
R06 年度	27	22	5	152	49	103	19	17	2	10	29
計	354※1	310※1	48※1	1303	530	773	220	186	34	66	286

◎物件提供／物件利用問い合わせ件数

	物件提供者	利用希望者				計
		小計	住替希望	移住希望	不明	
H27 年度	57件	125件	42	64	19	182件
H28 年度	161件	209件	71	111	27	370件
H29 年度	137件	240件	73	120	47	377件
H30 年度	130件	312件	115	108	89	442件
R01 年度	127件	263件	74	122	67	390件
R02 年度	140件	423件	122	214	87	563件
R03 年度	139件	346件	90	178	78	485件
R04 年度	161件	445件	164	194	87	606件
R05 年度	162件	415件	93	230	92	577件
R06 年度	134件	399件	84	247	68	533件
計	1348件	3177件	928件	1588件	661件	4525件

評価軸③-12 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		
項目		評価対象年度 令和6年度
新参町厩裏線景観形成事業		現在の状況 ☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和4年度～令和7年度	
支援事業名	街なみ環境整備事業(令和4年～令和7年)、市単独事業	
計画に記載している内容	市指定文化財「上田藩主居館表門及び土塀・濠・土塁」周辺の景観整備を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
濠周辺の竹柵が劣化しており、予算の範囲内で修繕を実施した。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	令和7年度以降の景観整備の実施に向けて、整備内容について検討を進める。	
状況を示す写真や資料等		
 施工箇所 事業位置図		
 新参町厩裏線  竹柵の修繕		

評価軸③-13 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項			
評価対象年度			令和6年度
項目			現在の状況
無形民俗文化財後継者育成補助事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和5年度～令和14年度		
支援事業名			
計画に記載している内容	市指定無形民俗文化財等の保存団体へ後継者育成のための補助を、必要に応じて学識経験者等の指導・助言を得て行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
市指定無形民俗文化財等の保存団体に向け助成事業を周知、実施。 補助事業により若手の育成に一定の効果はあった。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		地域における高齢化、若年層の人口減少などから担い手不足が課題となっている。	
状況を示す写真や資料等			
令和6年度 交付決定団体一覧			
団体名		文化財名	交付額(千円)
1	下室賀無形文化財保存委員会	下室賀三頭獅子	30
2	下之郷三頭獅子舞保存会	下之郷三頭獅子	30
3	岳の幟保存会	岳の幟	30
4	常田獅子保存会	常田獅子	30
5	新町氷上王子神社太々神楽保存会	氷上王子神社大神楽獅子舞	30
6	太郎山太々神楽保存会	太郎山神社太々神楽	30
7	東前山獅子舞ささら踊り保存会	前山三頭獅子	30
8	保野祇園祭保存会	保野の祇園祭	30
9	房山獅子保存会	房山獅子	30
10	尾野山無形文化財保存会	尾野山三頭獅子	30
11	尾野山無形文化財保存会	尾野山式三番叟	30
12	腰越一本木諏訪神社御柱祭奉賛会	腰越諏訪神社御柱御練り	30
13	上原三ツ頭獅子保存会	三ツ頭獅子	30
14	戸沢活性化組合	戸沢のねじ行事	30
(合計)			420

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度												
項目		現在の状況													
活力あるまちづくり支援金事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手													
事業期間	令和5年度～令和14年度														
支援事業名															
計画に記載している内容	地域の歴史文化などの魅力を高め、活力を生み出す活動に支援金を交付し、地域活性化とまちづくりの推進を図る。市内全域や住民自治組織単位の地域で実施される事業・活動を対象としている。														
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で															
令和6年度活力あるまちづくり支援金事業において採択された2団体(支援金事業全体では25団体が採択)が行う、地域の歴史文化やまちづくりなど地域活性化に取り組む活動に対して支援を行った。															
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)														
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	本支援金の要望・採択状況に応じて事業を継続する。														
状況を示す写真や資料等															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>団体名</th> <th>事業名</th> <th>事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上田西部</td> <td>りんくる Nekogawala(ねこ瓦を愛する会)</td> <td>地域文化の周知・緑化事業</td> <td>有形文化財の1つと捉えられる「ねこ瓦」を市民に広く周知し保存する。「ねこ瓦」と自然保護活動をつなげ、世代間の交流や地域活性化を図る。</td> </tr> <tr> <td>上田全域</td> <td>繭華</td> <td>常楽寺で繭クラフトを楽しもう</td> <td>上田市内の子どもたちに繭クラフト体験を通じ、かつて”蚕都上田”といわれた養蚕の歴史や蚕の生態等に興味を持って学ぶきっかけを作り、次世代へと伝承する。</td> </tr> </tbody> </table>				地域	団体名	事業名	事業内容	上田西部	りんくる Nekogawala(ねこ瓦を愛する会)	地域文化の周知・緑化事業	有形文化財の1つと捉えられる「ねこ瓦」を市民に広く周知し保存する。「ねこ瓦」と自然保護活動をつなげ、世代間の交流や地域活性化を図る。	上田全域	繭華	常楽寺で繭クラフトを楽しもう	上田市内の子どもたちに繭クラフト体験を通じ、かつて”蚕都上田”といわれた養蚕の歴史や蚕の生態等に興味を持って学ぶきっかけを作り、次世代へと伝承する。
地域	団体名	事業名	事業内容												
上田西部	りんくる Nekogawala(ねこ瓦を愛する会)	地域文化の周知・緑化事業	有形文化財の1つと捉えられる「ねこ瓦」を市民に広く周知し保存する。「ねこ瓦」と自然保護活動をつなげ、世代間の交流や地域活性化を図る。												
上田全域	繭華	常楽寺で繭クラフトを楽しもう	上田市内の子どもたちに繭クラフト体験を通じ、かつて”蚕都上田”といわれた養蚕の歴史や蚕の生態等に興味を持って学ぶきっかけを作り、次世代へと伝承する。												

評価軸③-15 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項	
評価対象年度	
令和6年度	
項目	
現在の状況	
ふるさと上田先人顕彰事業	
☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	令和5年度～令和14年度
支援事業名	
計画に記載している内容	上田市ゆかりの先人をパネル等の展示によって紹介する。上小教育会館での常設展示とともに市内巡回展示を企画する。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
信州上田ふるさと先人館(上小教育会館内)での常設展示のほか、市内公民館等の事業と連携し偉人・先人を紹介するパネル展を実施。 先人館来館者数:300人 巡回展示:6会場 (令和6年11月30日現在)	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	偉人・先人全てのパネルを常設できるスペースがなく、一定期間でローテーションしている状況となっている。出張！どこでも先人館を開催し、より多くの方にご覧いただく機会の創出に努めている。
状況を示す写真や資料等	
 信州上田ふるさと先人館（常設展示）  信州上田ふるさと先人館（常設展示）  出張！どこでも先人館（巡回展示）  出張！どこでも先人館（巡回展示）	

評価軸③-16 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項																												
評価対象年度																												
令和6年度																												
項目																												
住民自治組織によるまちづくり																												
□実施済 ■実施中 □未着手																												
事業期間	令和5年度～令和14年度																											
支援事業名																												
計画に記載している内容	自主的・自立的に地域の課題解決・活性化に取り組む「住民自治組織」に交付金を交付し、歴史顕彰や伝統行事の継承といった地域の特性を生かしたまちづくりの推進を図る。																											
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で																												
・「住みよい武石をつくる会」では、「武石八景」を武石地域の歴史的な名所として広く周知し、後世に伝えるため、令和3年度より自然生活環境部会の活動として、八景周辺の整備・清掃や案内看板の作成・設置などの活動を行っている。 ・市内塩田地域においては、江戸時代に住民の寄付により勧請した四国霊場の仏像を安置した寺院を巡る「塩田平札所めぐり」が行われている。塩田まちづくり協議会では、訪れた方々に、それぞれの札所や仏像についてよりよく知っていただくため、その歴史や内容を解説した写真付きの解説板を順次作成し設置している。																												
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)																											
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	地域住民が文化財への意識を高め、理解を深める取り組みが必要となる。 そのうえで、住民自治組織を中心とした自主的・主体的な活動により持続的な保存継承につながるための支援を行う。																											
状況を示す写真や資料等																												
【武石八景】 江戸時代後期、武石村の再興を図るため上田藩から郡奉行(こおりぶぎょう)相馬(そうま)与右衛門(よえもん)(通孝(みちたか))が派遣され、土地台帳・年貢台帳を基に現地調査を行い村の再興を図りました。 その際、村中を検分して回った際、目に映り心に沁みた武石の里の情景を和歌に詠み残したものが「武石八景」として伝わっています。しかし現在、地域でもそのことを知る住民は少なくなっているため、歴史顕彰の活動を続けています。 <table><tr><td>令和3年度</td><td>2か所</td><td>・乱橋瀑布</td><td>・信廣寺晩鐘</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>2か所</td><td>・横沢慕雪</td><td>・長尾秋鹿</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>2か所</td><td>・大宮岸松</td><td>・小山秋月</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>2か所</td><td>・鳥屋の炊煙</td><td>・松島夕照</td></tr></table>  武石八景案内看板設置(小山秋月) <tr><td colspan="2"> 【四国霊場札所の解説板設置事業】 <table><tr><td>令和5年度</td><td>2か所</td><td>3番 平井寺地藏堂、6番 青龍寺</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>2か所</td><td>14番 瑞光寺、番外 大湯薬師堂</td></tr><tr><td>令和7年度</td><td>2か所</td><td>(予定)</td></tr></table>  瑞光寺①  瑞光寺②  大湯薬師堂①  大湯薬師堂② </td></tr>		令和3年度	2か所	・乱橋瀑布	・信廣寺晩鐘	令和4年度	2か所	・横沢慕雪	・長尾秋鹿	令和5年度	2か所	・大宮岸松	・小山秋月	令和6年度	2か所	・鳥屋の炊煙	・松島夕照	【四国霊場札所の解説板設置事業】 <table><tr><td>令和5年度</td><td>2か所</td><td>3番 平井寺地藏堂、6番 青龍寺</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>2か所</td><td>14番 瑞光寺、番外 大湯薬師堂</td></tr><tr><td>令和7年度</td><td>2か所</td><td>(予定)</td></tr></table>  瑞光寺①  瑞光寺②  大湯薬師堂①  大湯薬師堂②		令和5年度	2か所	3番 平井寺地藏堂、6番 青龍寺	令和6年度	2か所	14番 瑞光寺、番外 大湯薬師堂	令和7年度	2か所	(予定)
令和3年度	2か所	・乱橋瀑布	・信廣寺晩鐘																									
令和4年度	2か所	・横沢慕雪	・長尾秋鹿																									
令和5年度	2か所	・大宮岸松	・小山秋月																									
令和6年度	2か所	・鳥屋の炊煙	・松島夕照																									
【四国霊場札所の解説板設置事業】 <table><tr><td>令和5年度</td><td>2か所</td><td>3番 平井寺地藏堂、6番 青龍寺</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>2か所</td><td>14番 瑞光寺、番外 大湯薬師堂</td></tr><tr><td>令和7年度</td><td>2か所</td><td>(予定)</td></tr></table>  瑞光寺①  瑞光寺②  大湯薬師堂①  大湯薬師堂②		令和5年度	2か所	3番 平井寺地藏堂、6番 青龍寺	令和6年度	2か所	14番 瑞光寺、番外 大湯薬師堂	令和7年度	2か所	(予定)																		
令和5年度	2か所	3番 平井寺地藏堂、6番 青龍寺																										
令和6年度	2か所	14番 瑞光寺、番外 大湯薬師堂																										
令和7年度	2か所	(予定)																										

評価軸③-17 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		
項目		評価対象年度 令和6年度
地域学習推進事業		現在の状況 ☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和5年度～令和14年度	
支援事業名		
計画に記載している内容	文化財や歴史的風致の理解を深めるため、出前講座、シンポジウムなどの市民の学びの機会を提供する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
出前講座や文化財修復にあわせた見学、文化財案内等計16回実施。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	文化財に対する関心を持ってもらうため、修理工程の公開や建造物等の見学会を積極的に行う取組を進めている。	
状況を示す写真や資料等		
		
出前講座		
		
文化財修復現場見学会(中禅寺薬師堂)		

評価軸③-18

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度
			現在の状況
文化財de文化祭			☐実施済 ☒実施中 ☐未着手

事業期間 令和5年度～令和14年度

支援事業名

計画に記載している内容

市内の文化財を舞台に音楽演奏会等を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市内の文化財を活用しコンサートイベントを開催。(全2回)
・令和6年10月21日「文化財de文化祭in旧倉沢家住宅」会場:旧倉沢家住宅(長野県宝) 参加者:40名
・令和6年12月7日「文化財de文化祭in前山寺」会場:前山寺本堂(国登録有形文化財) 参加者:40名

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない	文化財の大半は所有が民間であり、実施にあたり民間事業者、個人の協力、理解が不可欠となっている。

状況を示す写真や資料等





文化財de文化祭in旧倉沢家住宅 シャンソンとハワイアンのコラボ





文化財de文化祭in前山寺 クラシックコンサート

評価軸③-19

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度
		現在の状況	
景観ウォッチング		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
事業期間	令和5年度～令和14年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	地域に残る歴史的建造物や特色あるまちの景観を歩いて巡り、地域の魅力を再認識するイベントを開催する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
計画で歴史的風致を紹介している地域において、景観ウォッチングを開催した。歴史文化に詳しい講師の解説を聞きながら歴史的建造物や街なみを散策した。 5月秋和旧北国街道めぐり(正福寺、杉の古株跡、蚕種製造民家) 参加27名 12月日本遺産レイライン(信濃国分寺、長福寺、生島足島神社) 参加12名			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		歴史的建造物や歴史的なまちなみ等の価値を再認識し、郷土への誇りを培うきっかけとするため、若い世代にも歴史にふれる機会の提供をしたい。	
状況を示す写真や資料等			
 正福寺  滝澤秋暁の生家跡  信濃国分寺  物置  長福寺夢殿  生島足島神社  杉の古株跡  冬至のレイライン観測会			

評価軸③-20 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		
項目		評価対象年度 令和6年度
「観光地・上田」の誘客促進事業		現在の状況 ☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和5年度～令和14年度	
支援事業名		
計画に記載している内容	(一社)信州上田観光協会を中心に官民が連携し、歴史的建造物や町並み景観を生かした観光ツアーの造成、各種イベントを行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
(一社)信州上田観光協会と連携し、都内からカメラを趣味にする女性20名を招聘したプロモーションツアーを実施した。紅葉が美しい秋に歴史的建造物や昔ながらの町並みを撮影し、観光協会Instagramに載せることで魅力の発信に寄与した。また、旅行会社を招聘し、仕事をしつつ日本遺産の生島足島神社の鳥居に沈む冬至の太陽を眺めるワーケーションモニターツアーを実施し、魅力ある旅行商品へブラッシュアップするために意見を頂く予定。12月実施予定。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	モニターツアー、プロモーションツアーを通じて旅行商品としての魅力を把握するとともに関係者との共有を図る。	
状況を示す写真や資料等		
【カメラ女子プロモーション事業】  柳町の景観を旅行者に魅力的に見せるための構図を検討 歴史的建造物（常田館製糸場）を撮影した実際の写真   歴史的建造物（別所神社）を撮影した実際の写真		

評価軸③-21
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度 現在の状況
日本遺産推進事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和2年度～令和14年度		
支援事業名			
計画に記載している内容	地域住民や交通・観光関連事業者が連携し、日本遺産のストーリーを活用した特産品等の魅力発信、名所・文化財を巡るツアー造成、関連イベントを実施する。 また、ストーリーを構成する文化財群の保存活用を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
日本遺産の認定ストーリーや構成文化財の素晴らしさを再認識するため、「日本遺産信州上田・塩田平検定」、近隣の日本遺産認定地域である「千曲市、長和町と連携したスタンプラリー」を実施することで普及啓発を図った。併せて、日本遺産の認定ストーリーを分かりやすく体験してもらうためのVR動画を制作した。 また、日本遺産の普及を図るため、認定ストーリーや構成文化財を舞台にした短編小説集の発行に取り組んだほか、上田市日本遺産の情報発信を行うことにより観光誘客を図った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	引き続き、普及啓発と情報発信の2つの事業を基本に実施してまいりたい。		

状況を示す写真や資料等



日本遺産信州上田・塩田平検定



日本遺産信州上田・塩田平検定 受検対策講座



日本遺産スタンプラリー

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度
		現在の状況	
文化財の保存(文化財調査・指定・保存管理・活用等)について		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
計画に記載している内容	文化財保護の指針となる「上田市文化財保存活用地域計画」を作成し(令和4年認定)、計画で定めた方針に基づいて各種施策を推進している。指定や登録等文化財については適切な保存、公開、整備、活用を行う。未指定の文化財は、調査を継続し特徴や価値を明らかにし、文化財指定や登録について検討する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
「旧佐藤家住宅(藤本)」一号蚕室ほか5棟が8月15日に国登録有形文化財に登録された。また、調査・審議を進めてきた「刀」、「木造大日如来坐像」、「木造薬師如来立像」、「木造阿弥陀如来坐像(本尊)」、「木造阿弥陀如来坐像(裏本尊)」の5件の美術工芸品を11月28日に市指定有形文化財に指定した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		文化財の保存には負担も発生するため、所有者や地域住民の深い理解が必要となる。	
状況を示す写真や資料等			
 旧佐藤家住宅(藤本) 一号蚕室  旧佐藤家住宅(藤本) 二号蚕室  刀  木造薬師如来立像  木造大日如来坐像  木造阿弥陀如来坐像(本尊)  木造阿弥陀如来坐像(裏本尊)			

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度
		現在の状況	
文化財の保存(文化財調査・指定・保存管理・活用等)について		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
計画に記載している内容	文化財保護の指針となる「上田市文化財保存活用地域計画」を作成し(令和4年認定)、計画で定めた方針に基づいて各種施策を推進している。指定や登録等文化財については適切な保存、公開、整備、活用を行う。未指定の文化財は、調査を継続し特徴や価値を明らかにし、文化財指定や登録について検討する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和4年度から行っている仏像詳細調査を継続して実施している。調査成果の公開の場として、市立美術館で特別展「ハッケン! 上田の仏像」を令和7年1月11日から3月9日まで開催する。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		令和6年度が事業の最終年度であり、調査を完了し報告書を作成する必要がある、作業を進めている。	
状況を示す写真や資料等			
 			
仏像調査の様子		特別展「ハッケン! 上田の仏像」	

評価軸④-3 文化財の保存又は活用に関する事項	
項目	評価対象年度 令和6年度 現在の状況
文化財の修理・整備等について	☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
計画に記載している内容	修理は、文化財の価値を維持、復旧することを目的とし、過去の修築や調査記録を活用し、国や県、文化財保護審議会、専門家の意見を踏まえ適切に行う。 史跡上田城跡については、保存活用計画を策定し、本質的価値を明らかにしたうえで、整備事業を適切に進める。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
国指定重要文化財「中禅寺薬師堂」の茅葺屋根保存修理が行われ、補助金を交付した。市所有指定文化財においても、「旧宣教師館」や「旧倉沢家住宅」において、維持管理のための修繕を実施した。 「史跡上田城跡保存活用計画」が11月に文化庁の認定を受けた。令和5年度から「史跡上田城跡整備基本計画」の改訂を進めている。	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない	事業実施には所有者負担が発生するため、所有者の財政力によってはなかなか修理に踏み切れない状況もある。 史跡整備は、遺構や史料など根拠の調査や整備方針の検討など多岐にわたる課題に対応している。
状況を示す写真や資料等	
 中禅寺薬師堂（修理中の様子）	
 史跡上田城跡整備専門家会議（12月24日）	

評価軸④-4 文化財の保存又は活用に関する事項	
項目	評価対象年度 令和6年度 現在の状況
文化財の防災に関する取組について	☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
計画に記載している内容	火災予防対策として、自動火災報知機や消火設備等の防火設備の設置、消防署と連携した訓練や検査を実施し、万一の事態に備える。 耐震対策に関して、国指定等文化財は文化庁の指導に沿って対策を行い、県・市指定等の文化財については、所有者等の協力を仰ぎ現状を把握し、必要に応じて耐震対策を進める。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
上田城跡の櫓(県指定)及び櫓門、旧倉沢家住宅(県指定)、旧宣教師館(市指定)において、防災設備の定期点検を実施した。 国・県指定文化財について、文化財パトロールを実施した。令和6年度から市指定文化財のパトロールを実施している。 重要文化財である国分寺三重塔において、防災設備の新設及び更新を計画しており、実施設計を行っている。 重要文化財である長福寺銅像菩薩立像において、防犯設備の更新工事を実施中。 国登録有形文化財である筑波大学山岳科学センター菅平高原実験所大明神寮において、耐震診断を実施中。 文化財防火デーにあわせ、上田城跡で火災想定訓練及び防災訓練を実施。	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない	防災・防犯設備については効果的な設備の導入が必要であり、文化庁の指導を仰ぎながら対応を進めている。
状況を示す写真や資料等	
指定文化財において、文化財パトロールを実施 国指定文化財・・・22件 県指定文化財・・・28件 市指定文化財・・・7件	
 国分寺三重塔防災設備において、文化庁調査官による現地指導を実施(7月26日)	
 筑波大学山岳科学センター 菅平高原実験所大明神寮	
 文化財防火デーにあわせた火災想定訓練・防災訓練(1月26日)	
	

評価軸⑤-1 効果・影響等に関する報道		
報道等タイトル		評価対象年度 令和6年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等
上田城復元推進協議会が発足	令和6年4月3日	東信ジャーナル
上田城跡公園「ソメイヨシノ」7日に開花	令和6年4月10日	信州民報
花まつりや大般若転読会 上田の信濃国分寺	令和6年4月11日	東信ジャーナル
上田城の櫓 再建はいつか いまだ7つ櫓が形にならない理由	令和6年5月9日	東信ジャーナル
スタンプラリーや検定、短編小説でPR	令和6年5月14日	東信ジャーナル
上田の日本遺産へいざなう小説誕生	令和6年5月15日	信濃毎日新聞
上田の日本遺産検定コースを2つに充実	令和6年6月11日	信濃毎日新聞
上田城パネル展inアリオ上田	令和6年6月21日	信州民報
上田の夏祭りシーズン突入「祇園祭」	令和6年7月23日	東信ジャーナル
発掘調査現地説明会	令和6年8月24日	東信ジャーナル
上田城跡の国史跡指定90周年記念 上田城復元クイズラリー	令和6年8月24日	東信ジャーナル
12月、日本遺産 信州上田・塩田平検定 来月、受検対策講座と歴史散策ウォーキング	令和6年8月28日	東信ジャーナル
中禅寺・薬師堂「葺き替え工事見学会」	令和6年8月28日	信州民報
上田城跡の西櫓 掃除イベント初開催	令和6年10月9日	信濃毎日新聞
上田市内最古の木造仏など5件 市指定文化財へ文化財保護審議会が答申	令和6年10月30日	東信ジャーナル
上田真田まつり 上田の中心市街地で戦国絵巻	令和6年11月7日	東信ジャーナル
上田城紅葉まつり	令和6年11月7日	東信ジャーナル
旧市民会館見学会	令和6年12月1日	信濃毎日新聞
上田市で景観ウォッチング 日本遺産レイラインを巡ろう	令和6年12月5日	信州民報
文化財de文化祭in前山寺 本堂でクラシックコンサート	令和6年12月18日	東信ジャーナル
上田の仏教文化 その歩み 市内で特別展	令和7年1月12日	信濃毎日新聞
上田城跡公園で消火や通報訓練	令和7年1月27日	信濃毎日新聞
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
計画に位置付けられた事業に関わるイベント等について、報道により市民の関心の向上につながった。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☐ 計画の進捗に影響あり ☒ 計画の進捗に影響なし	地域の歴史や文化に関する情報を発信し、歴史的風致の認識の向上を図る。	
状況を示す写真や資料等		
  上田城パネル展inアリオ上田 生島足島神社 冬至の落陽		

評価軸⑥-1
その他(効果等)

評価対象年度 令和6年度

項目

観光地来訪者の状況

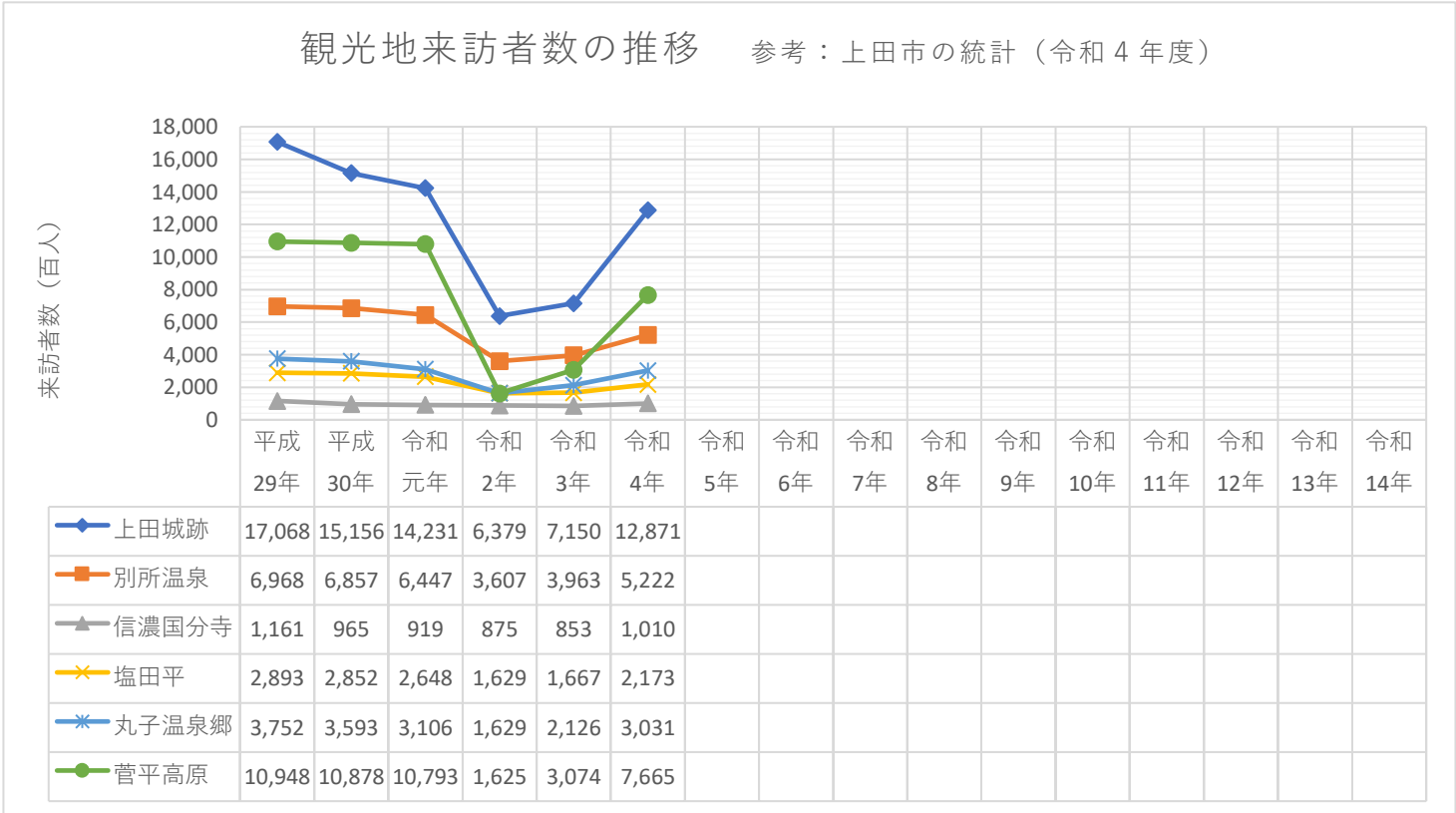
計画に記載している内容 観光資源の魅力を高め、有機的に連携させ、さらに集客力を高める取り組みを行うとともに、農業体験やグリーンツーリズムを推進するなど、新たな広域体験観光にも力を入れている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

観光地来訪者※詳細は下記を参照(『上田市の統計』より)。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☐ 計画の進捗に影響あり ☒ 計画の進捗に影響なし	平成28年のNHK大河ドラマ「真田丸」放送年以降、徐々に観光客数が減り、新型コロナウイルス感染症の影響により、大幅に減少したが、回復傾向にある。歴史的風致の維持向上や周辺環境の整備を推進していく。

状況を示す写真や資料等



単位：百人

法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	令和6年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称： 上田市歴史的風致維持向上協議会	
会議等の開催日時：令和7年2月12日(水)13:30～15:35	
(コメントの概要) (1)歴史的景観が現存する背景にせまる必要がある。蚕都上田を紹介される場面が最近少ないので、蚕都上田を学べる展示を検討してほしい。 一つひとつ価値ある文化財等を、地道な活動を継続してひろい、点と点がつながり面的な広がりをもって評価していくことが必要。閉鎖された資料館もあるが、素晴らしい施設が市内に点在している。時代を区切らず養蚕製糸業を含めてうまく繋げて考えてほしい。 (2)建造物調査の調査結果を公表した方が建物の保全につながる。上田映劇は早急な修理が必要だが、財源確保の目途はあるか。 (3)県外やインバウンドで魅力を感じてもらうのが難しい。報道やお祭りなど市内にとどまっている。 (4)上田城復元資料収集に向けた懸賞金事業の進捗状況について。	
(今後の対応方針) (1)上田市に様々な歴史がある中で、計画に基づいて蚕都も含めて全体的にやっていきたい。 (2)調査結果を公開する機会を設けていきたい。上田映劇は今後の保存活用の見通しが立たないと進まないの、様々な面から方策を検討していきたい。 (3)市民に加えて外へ向けてのPRもしていきたい。 (4)令和5年7月から開始して1月31日現在63件古地図、絵図、写真が寄せられている。来年度も呼びかけを継続していきたい。	